

学校自己評価報告書

学校教育目標 一人一人を見つめ、自立と社会参加をめざし、たくましい生活力を育てる。

項目重点	中長期経営目標	短期経営目標	評価項目 (具体的な計画)	達成状況	評定	改善方策
の充実 「主体的・対話的 で深い学び」 の充実 「主体的・対話的 で深い学び」	○「主体的・対話的 で深い学び」の 実現に向けて、 「つきたい力を 明確にした授業 づくり」に焦点を 当てた指導・支援 のあり方の研究	○「主体的・対話 的で深い学び」の 視点に立った授 業実践	○授業づくり検討会 の実施 ○学びについての一 覧表や授業参観シー トを活用した一人1 授業実践に取り組 む。	○「主体的」「対話的」で「深 い」学びそれぞれについて教 職員間で共通理解を図り、同 じ学びの姿を想定して授業評 価を行うことで、評価の視点 が定まり、全ての教員が授業 実践に取り組むことができ た。	B	○作成してきた一覧 表などのツールの改 訂やより多くの教師 による授業実践の蓄 積。
地域や関係諸機 関と連携した 教育活動の充実	○児童生徒と地 域との交流、地域 との連携を図った 教育活動の実 施	○地域の学校や 地域社会、ボラン ティアとの交流、 交流籍を活用し た居住地校交流 の推進	○交流及び共同学習 や地域へ貢献する活 動、地域型実習、地 域の施設・機関での 販売活動等に取り組 む。	○対面での学校間交流を再開 (小中学部)。交流籍を活用し た居住地校交流は5割。ボラ ンティア登録者約80名。延 べ約140名が活動に参加。 ○地域への貢献活動、地域型 実習、地域での販売活動等 を実施した。	B	○共生社会の実現を 目指して、学校運営協 議会に移行し、さらに 地域との連携を深め ていく。
特別支援教育に 関する指 導力・専門性の 向上	○人間性・専門性 を高め、自信をも って特別支援学 校職員の役割を 果たす教職員	○「個別の教育支 援計画」により、 保護者と共通理 解を図り、より良 い指導・支援を目 指す。	○本校主催公開講 座・OJTや校内研修 会への積極的参加に よる専門性の向上。 ○若手教員の育成	○中堅教員と若手教員とで OJT研修を継続して行い、若 手教員の育成に資する ことができた。 ○専門家派遣事業等 を活用し、具体的な指 導助言を受け、日々 の実践に活用した。	B	○研修履歴を活用し た対話に基づく受講 奨励を活用し、実践 力を高めていく。
児童生徒・保護 者・教職員 にとつて安全 安心な学校	○人権尊重の教 育の徹底 ○同僚性を培う。 働き方改革の推 進。	○健康な体と思 いやりのある心 を育てる。 ○業務内容の見 直しと心身の健 康を確保する。	○自他を大切にす る、人間関係形成 能力の育成 ○教材研究や授業 準備に当てる時間 を確保するため、研 修の精選と縮小、 統合	○人権ポスター作成・Good Behaviorカードの活用 や自己理解・他者理 解に焦点を当てた取 組を実施した。 ○最終退庁は19時。 会議時間1時間以内。	B	○児童生徒の人権に 配慮した指導支援と 保護者との共通理解 に引き続き努める。

4段階評定 (A: 目標を十分に達成 B: ほぼ目標を達成 C: やや不十分 D: 改善を要する)

来年度の重点取組 (学校自己評価を踏まえた今後の方向性)

- 3年間の「主体的・対話的で深い学び」の研究を踏まえ、その研究成果を日々の指導に活かしていく。
- 教育支援計画の活用等により、保護者との共通理解を図るとともに、全校行事や学部間を越えた関わりをと
おして小中高の連携・教育の一貫性を高める。
- 地域との連携を図った教育活動を充実させる中で特別支援教育の専門性を高め、特別支援学校職員としての
役割を果たしていく。